

巻頭言

情報科学研究センター所長
小 淵 洋 一

『城西情報科学研究』は、今回で第 21 巻になります。本研究は、第 11 巻から研究論文についてはレフェリー制度を導入して以来 11 年になりますが、多くの先生にご投稿いただき、深く感謝申し上げます。

さて、今回は、研究ノート 4 編、報告 3 編の計 7 編ご投稿いただきましたが、これは 5 年連続最多投稿編数です。本研究は、第 19 巻から印刷物にしないでオンライン化し、城西大学の図書館のホームページからいつでもどこからでもみられるようになっています。レフェリー制度を導入して以来、これまで英文の研究論文の投稿が 1 編ありましたが、今回は残念ながら研究論文のご投稿はありませんでした。是非、今後、研究論文のご投稿をお願いいたします。

特に、今回は、情報科学研究センターの非常勤講師として長年ご指導いただいている渡辺光太郎氏には、研究ノートでウェブクラスの資格対応科目における活用とコンピュータリテラシーにおける活用の二つの研究をご投稿していただいています。前者の資格対応科目 (IT 論入門) におけるその活用では、活用事例の分析を通じて学習効果の向上、さらにはその一層の向上に際しての課題などが論じられています。後者のコンピュータリテラシーにおけるその活用では、ウェブクラスの活用実態、実験結果などの分析と活用上の課題が挙げられています。このような渡辺氏の今回の研究は、ウェブクラスの活用、e-Learning の授業展開の促進、さらにはセンター講座の充実にとって非常に貴重であり、氏に深く感謝申し上げます。

最後に、今年度の情報科学研究センターの注目すべき動きとして、ウェブクラスなどの e-Learning に関する開発と研究を促進するために、「城西 e-Learning 研究会」を設立したことが挙げられます。去る 3 月 18 日に、その第 1 回研究会を開催する予定でしたが、3 月 11 日の東日本大震災の発生で中止しました。新年度に入り、大震災がもっと落ち着いた時期にその研究会を開催したいと思いますが、この研究会の発展を通じて本学における e-Learning の授業展開を一層促進していきたいと考えておりますので、諸先生方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

『城西情報科学研究』は、オンライン化されていますので、図書館のホームページからご利用いただくとともに、次回のご投稿をお待ちしております。